

## 「第2期広島県医療費適正化計画（案）」の意見募集結果について

### 1 意見募集の概要

募集期間 平成25年2月21日（木）～平成25年3月6日（水）

公表方法 広島県ホームページ，行政情報コーナー・医療保険課及び各保健所・支所における閲覧

提出方法 郵送，ファックス，電子メール，電子申請

### 2 意見の件数

3件

### 3 意見の要旨と県の考え方

| 区分 | 意見の要旨   | 県の考え方   |
|----|---|---|
| 1  | <p>【がん検診の受診率の目標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診率の現状率が，最大17%程度の差であるにも関わらず，目標がすべて50%である。子宮がんの伸び率設定が他のがんと比べ低いと感じます。女性のための対策をもっと強化すべきではないでしょうか。</li> </ul>  | <p>がん検診受診率については，現行計画での目標50%の達成が難しいこと，国のがん対策基本計画との整合などから，次期計画においても引き続き50%を目指すこととしたものです。（参考：国の計画目標「がん検診の受診率を5年以内に50%（胃・肺・大腸は当面40%）を達成する。）</p> <p>なお，女性特有の子宮がんと乳がんの検診については，市町による無料クーポン券事業や受診できる医療機関の拡大などに取り組んできているところです。</p> |
| 2  | <p>【たばこ対策の重要性について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たばこ対策・喫煙対策」を最重点目標に取り上げ全力投入していくべきです。</li> <li>・「受動喫煙防止の推進」について，早期の条例制定により，公共性の高い施設と子ども・妊産婦を守ることを最優先に全面禁煙ルールを確立して順次広げていただくことを期待しています。</li> <li>・国に対して，「受動喫煙防止の抜本施策，たばこ税率の大幅な上げ及び厳しい健康警告表示」を折にふれ強く要請してください。</li> <li>・20歳前～30歳代・未成年の喫煙者に対して，禁煙サポートに重点を置いたやり方や，「禁煙相談ライン」の新設などが求められています。</li> <li>・正しい知識の普及啓発について，幼稚園や小中学校の保護者への禁煙促進の働きかけや啓発・講習等に焦点を絞ったプログラムが望まれます。</li> </ul> | <p>本県のたばこ対策は，喫煙をやめたい人に対する禁煙支援プログラムの実施や，公共施設の建物内禁煙などの受動喫煙防止対策を推進することとしています。</p> <p>喫煙者に対しては，特に妊婦にターゲットを絞った取組を，市町等と連携して行うこととしています。</p> <p>いただいた御意見については，関係機関等と検討し，年度計画を立てて，進めていきたいと考えています。</p>                              |
| 3  | <p>【減塩の重要性について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減塩の重要性について，がん対策や高血圧対策としても「減塩」の推進は重要ですが，脳循環器疾患などの予防上からも極めて大事なことを啓発・周知すべきです。</li> <li>・減塩の目標値は，当面「1日6g未満」とすべきです。「栄養成分表示における食塩相当量（g単位）」，「1日推奨値の何%に当たるか」及び「この食品中の塩分の%表示」の表示義務づけについて，国への要請をお願いします。</li> </ul>  | <p>減塩の取組については，現在策定中の県健康増進計画「健康ひろしま21（第2次）」及び「広島県食育推進計画（第2次）」において，取り組むべき重要な柱の一つとして位置づけています。</p> <p>目標値については，現状及び国の目標値を踏まえ，「1日8g以下」と設定しました。</p> <p>減塩への取組が進むよう，食品等への塩分表示義務に係る国への要請等については，今後検討したいと考えています。</p>                |